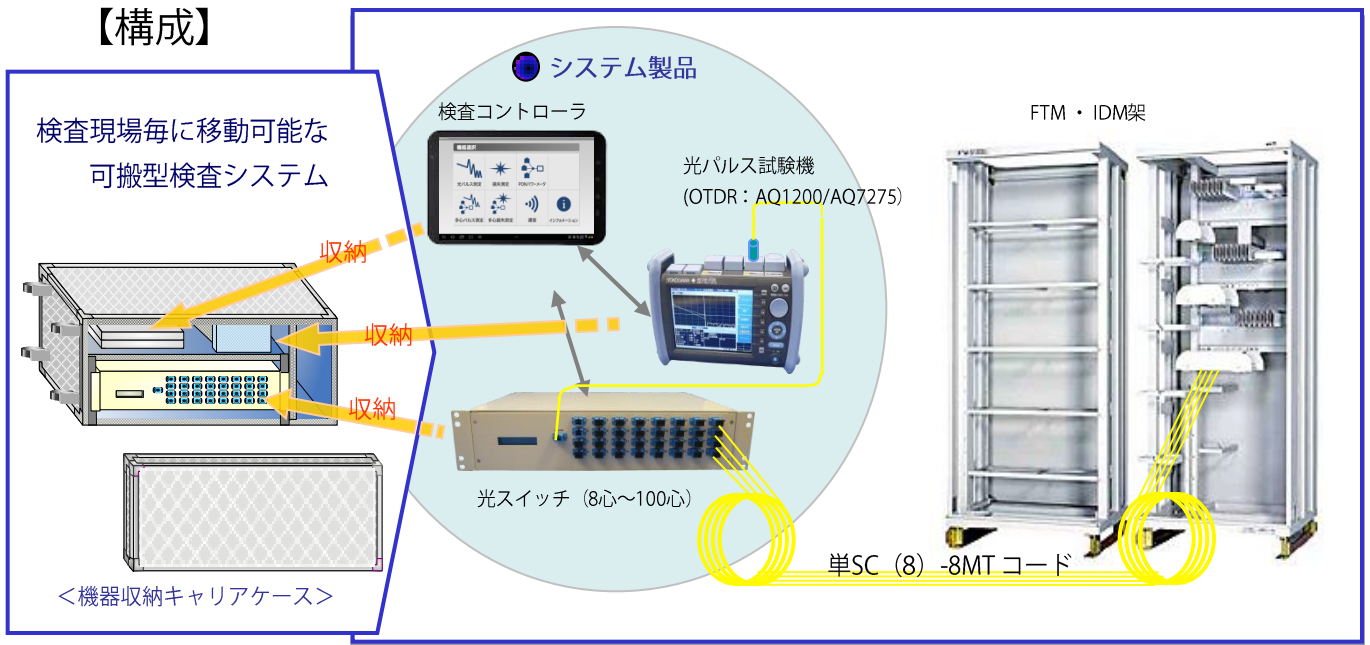


➡ 各種光パルス測定（段取・測定時間）、及び損失測定の約50%稼働削減

➡ 各種光パルス測定品質、及び損失測定品質の高品位化

光アクセスサービスの急速な普及・拡大に伴い、光媒体（ファイバー）測定作業が増加し続けています。主な試験として、敷設前後や工事品質担保を目的とした「開通試験」、予防保全を目的とした「定期測定」、修理復旧を目的とした「故障探索」、ファイバーのレベル変動を測定するための「損失測定」が挙げられます。多心光ファイバー自動測定ツールは、測定数が増えることによる作業者への負担を減らし、増え続ける線路測定データの容易な整理、専門知識を必要とする光パルス測定の技術継承を簡単にするツールです。持ち運びが容易なiPad端末で運用することが可能になり、利便性が向上、データ通信回線(3G/LTE/4G等)を使い遠隔から操作することで直接現地へ行かずに測定することが出来ます。

## 【構成】



## 【専用コントローライメージ】

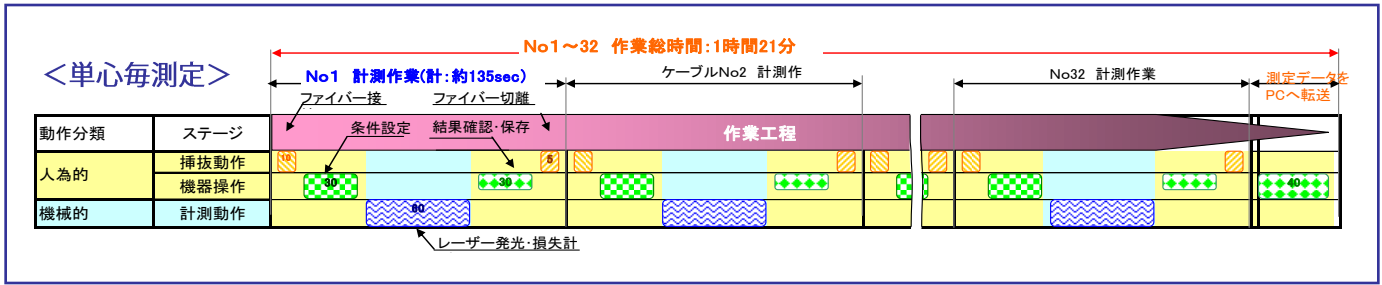
光スイッチに接続された多心光ファイバーケーブルを切り替えながらOTDR測定を行い、測定値を自動保存します。(SORフォーマット)



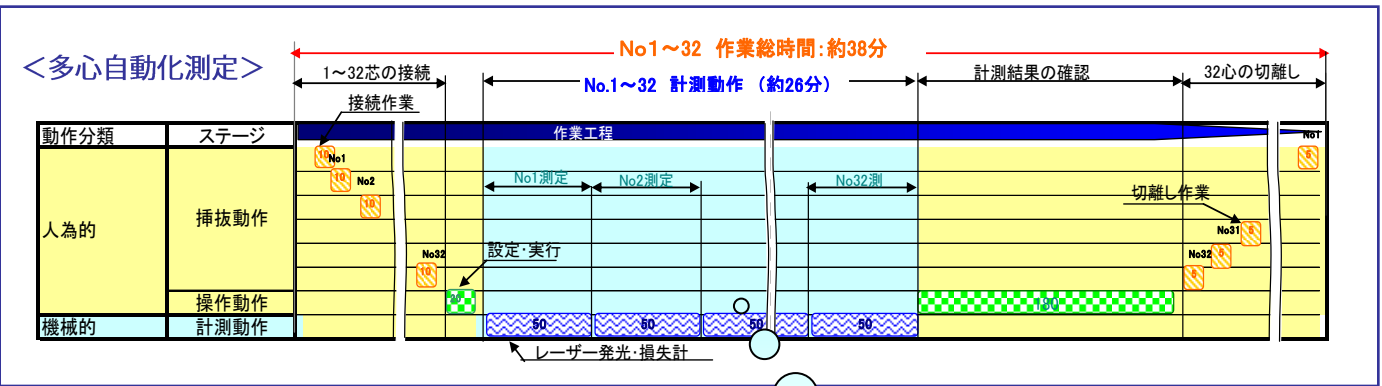
- ◆ 光ファイバーケーブル毎の測定条件設定が可能
- ◆ 測定手順をCSVファイルにて読み込み可能  
(測定前の事前準備～測定時の編集も可能)
- ◆ 測定結果(SORファイル)を検査コントローラとOTDRに保存可能

# ※ 測定時間比較

● 単心毎と多心ファイバー計測時間の比較 (比較条件 波長：1/平均化：4096回/距離:50km × 32心)

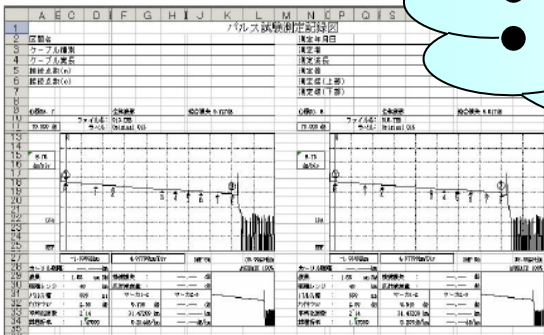


全稼働時間→1/2短縮 : 人為的な作業時間→1/3 • 自動計測時間→2/3



## ※ 波形解析ソフト・イメージ (AQ7932)

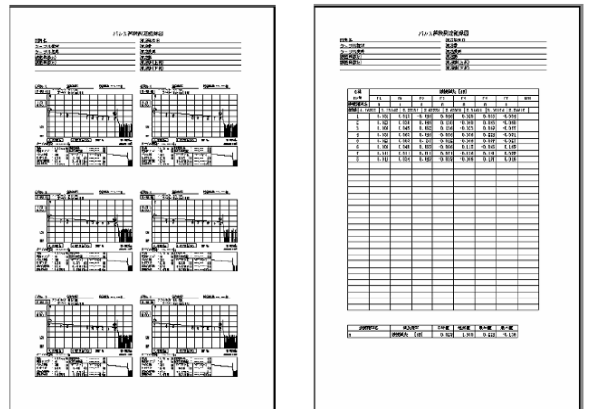
<レポート作成>



### 【終了待ち時間の有効利用】

- 自動測定中の時間に、解析・レポートを作成 (AQ7932)
- 自動化システムを並列検査 (2倍×2倍の効率化)

<波形出力 / 集計表>



<複数波形の読み込み / 二波形解析>

